

県央・湘南の 環境と共生する 都市づくり NEWS

新幹線新駅の実現を目指す、
環境共生の都市づくり通信



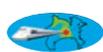
No.41

平成27年10月



新横浜駅で停車中の新幹線

**神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、
寒川町倉見地区に東海道新幹線新駅を誘致する活動に取り組んでいます！**



新駅ができるとどうなるの？

- ❶ **交通利便性が向上します。**
全国の主要都市への移動時間が大幅に短縮されます。
- ❷ **産業活動が活性化します。**
新幹線によって都市と結ばれ、ビジネスの機会が大きく拡大します。
- ❸ **都市と地域が活性化します。**
交通利便性が高まり、地域の特性に合った産業や商業施設が集まります。
- ❹ **知名度が上がります。**
新幹線の駅のある都市として知名度が上がり、訪れる人が増えます。



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

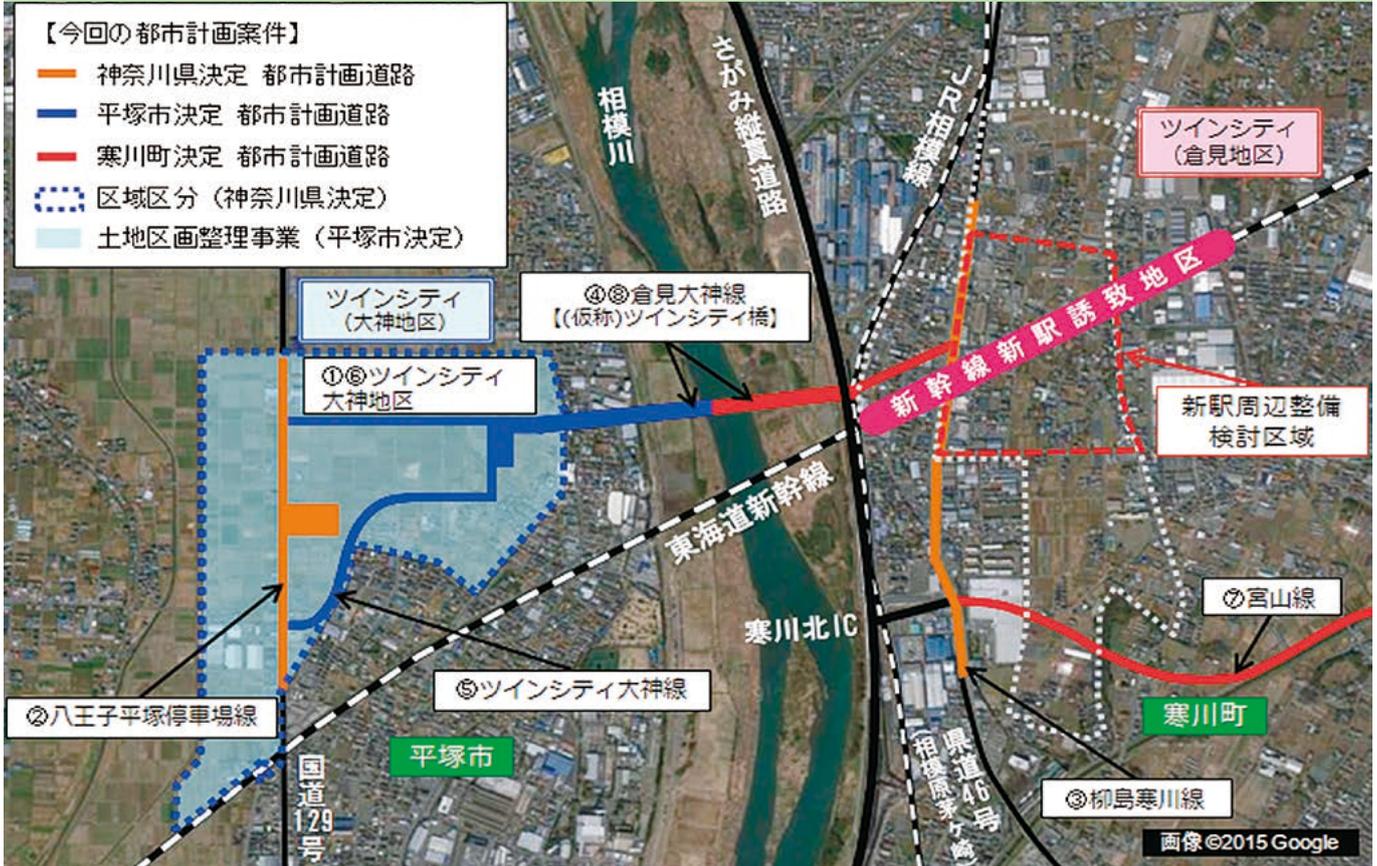
神奈川県・相模原市・平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・厚木市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市・寒川町・県市長会・県町村会・県商工会議所連合会・県商工会連合会

ツインシティのまちづくりが進んでいます！

ツインシティは、東海道新幹線新駅誘致に取り組んでいる「寒川町倉見地区」と、相模川を挟んだ対岸の「平塚市大神地区」からなる新たな双子のまちのことで、両地区を新たな橋「(仮称) ツインシティ橋」でつなぐことにより、一体的なまちづくりをめざしています。

平成27年8月28日に、ツインシティ大神地区の市街化区域への編入等について、都市計画決定・変更が告示されました。

ツインシティ都市計画 概要図



◆主な都市計画決定・変更の内容

決定権者	都市計画の種類及び名称	概要
神奈川県	①区域区分の変更(ツインシティ大神地区)	計画的な市街化を図るため、市街化調整区域から市街化区域に編入しました。
	②都市計画道路の変更(八王子平塚停車場線[国道129号])	一部区間の幅員を拡幅(22m→27m)するとともに、休憩施設を設置します。
	③都市計画道路の変更(柳島寒川線[県道46号])	一部区間の幅員を拡幅(2車線→4車線)します。
平塚市	④都市計画道路の変更(倉見大神線【(仮称)ツインシティ橋】)	寒川町倉見地区と平塚市大神地区を新たな橋で連絡します。
	⑤都市計画道路の変更(ツインシティ大神線)	ツインシティ(大神地区)の新たな幹線道路となります。
	⑥土地区画整理事業の決定(ツインシティ大神地区)	土地区画整理事業により公共施設や宅地等の整備を実施するため、事業の実施区域を決定しました。
寒川町	⑦都市計画道路の変更(宮山線)	柳島寒川線の一部区間の幅員を拡幅(16m→27m)することに伴い、宮山線の終点を変更しました。
	⑧都市計画道路の変更(倉見大神線【(仮称)ツインシティ橋】)	寒川町倉見地区と平塚市大神地区を新たな橋で連絡します。

★この都市計画決定・変更により、ツインシティのまちづくりが進みます。

「環境共生都市づくり事業」の認証を行いました

神奈川県は、県央・湘南都市圏において環境と共生する都市づくりを推進しています。その取組の一環として、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」に基づき、一定の基準を満たす事業を「環境共生都市づくり事業」として認証し、認証事業の事業者に対して認証書と認証マークを交付しています。平成27年3月19日に県庁で認証式を開催し、新たに2事業を認証しました！



上溝高校本館整備事業〔認証第18号〕

(相模原市中央区上溝六丁目2714番1外)

事業の概要	「県立教育施設再整備10か年計画」に基づき、耐震化を目的として本館の建替えを行う。
事業者	神奈川県
環境共生の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の庭園や記念樹の松・祐道桜の保存 ・熱交換型換気システム、LED照明など高効率の設備機器を採用し、エネルギー使用量を抑制 ・大規模災害発生時におけるライフライン事業者（東京電力、東京ガス）の応急復旧活動拠点として地域防災力の向上に貢献 ・図書室は、地域の人たちが利用できるよう計画 など



茅ヶ崎市役所新庁舎整備事業〔認証第19号〕

(茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目2340番1の一部ほか)

事業の概要	行政拠点地区再整備の中核となる新庁舎建設事業を推進することで、大規模災害対策や復旧・復興対策の機能の確保を図り、より良い市民サービスを実現することができる『市民の生命と暮らしを守る安全・安心の拠点となる「新しい市役所」』の実現を目指す。
事業者	茅ヶ崎市
環境共生の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地境界沿いのサクラや市の木であるフサアカシアなど既存樹木の保全 ・BEMSの導入により、建物運用時におけるエネルギー使用を最適化 ・非常用発電設備と3日分の容量を持つ地下燃料タンクの設置 ・市民ふれあいプラザと喫茶コーナーを設置 など

JR相模線で「アトムトレイン」を運行しました

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会は、リニア中央新幹線、相模線複線化等同盟会と連携した取組として、JR相模線と沿線の魅力アップ及び「さがみロボット産業特区」の周知広報を目的に、JR相模線の1編成4両をラッピングした「アトムトレイン」を、約半年間（3月22日から9月29日まで）運行しました。



特区のイメージキャラクター・鉄腕アトムのヘッドマーク

本同盟会では、県央・湘南地域の魅力や「絵画コンクール」の入賞作品を、車内広告で紹介しました。

運行初日は、茅ヶ崎駅で新駅誘致のパネル展示を行いました。



絵画コンクール入賞作品の紹介



JR茅ヶ崎駅でのパネル展示

平成27年度総会を開催し、要望活動を実施しました

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、7月28日に、平成27年度総会を開催しました。事務局の神奈川県、ツインシティの地元の平塚市・寒川町からの現在の取組状況報告や、市町の首長等による意見交換が行われ、平成27年度事業計画案・予算案、総会決議について承認されました。総会決議に基づき、8月17日には、県副知事、同盟会副会長市の藤沢市・厚木市、ツインシティの地元の平塚市・寒川町の首長等がJR東海を訪れ、新駅設置の要望活動を実施しました。また、8月21日には、県内選出国議員及び国土交通省、総務省に対して要望活動を実施しました。



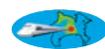
(吉川副知事あいさつ)



(土井神奈川県議会議長あいさつ)



(総会の様子)



総会とは？

同盟会会員10市町の首長や、県機関・関係機関の代表等が出席し、その年度の事業計画や予算について審議する会議のことです。平成9年度から毎年度実施しています。

同盟会会員が一堂に会する貴重な場であるとともに、その年度の同盟会の活動について決定するため、同盟会の1年のカギを握る大変重要な会議です。

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会は、平成8年の設立以来、寒川町倉見地区に東海道新幹線の新駅を誘致する活動に取り組んでいます。同盟会を構成する県市町の窓口は、次のとおりです。

県・市町担当窓口			厚木市	政策部広域政策課	046-223-1511 (代)
神奈川県	都市部環境共生都市課	045-210-6033 (直)	伊勢原市	都市部都市総務課	0463-94-4711 (代)
相模原市	まちづくり計画部交通政策課	042-754-1111 (代)	海老名市	まちづくり部駅周辺対策課	046-231-2111 (代)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111 (代)	座間市	都市部都市計画課	046-255-1111 (代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111 (代)	綾瀬市	経営企画部政策経営課	0467-77-1111 (代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111 (代)	寒川町	拠点づくり部倉見拠点づくり課	0467-74-1111 (代)

神奈川県 ■ 県土整備局 ■ 都市部 ■ 環境共生都市課

電話045-210-6033 FAX045-210-8879 E-mail (下記ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。)

期成同盟会ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p19860.html>
同盟会についてもっと詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください！

新幹線新駅同盟会

検索